

## 農業共済新聞 千葉版

掲載号	8 月 4 週号	
筆者	所属	農林総合研究センター
	職名及び氏名	研究員 町田剛史
題名	レタス 千葉県に求められる業務用冬どり栽培	
備考	【図説明】業務用冬どりレタスの主な適品種	

### 【本文】

現在、野菜需要の半分以上が業務用となっており、業務用に適した野菜生産技術の開発、産地形成が急務となっています。レタスは、“レタスサンド”、“レタスサラダ”のように商品の看板になる素材であり、業務用として年間を通じて欠かせません。業務用として求められるレタスは、1玉が600～800gの大玉（通常は500g前後）で、なおかつ一枚ずつ剥がせるように緩く巻いているなど、家庭で消費されるものと異なります。また、比較的温暖な千葉県には、特に1～2月の冬どり生産が求められています。これまで業務用の冬どりレタスを供給してきた西南暖地からの輸送には、雪による交通遮断や輸送コスト高騰といったリスクがあるため、消費地に近い関東近県での生産が強く要望されているためです。

農林総合研究センターでは、この需要に応えるべく、業務用レタスの品種選定や栽培法確立に取り組んでいます。業務用の冬どり栽培には、緩く巻いた大玉になりやすい「レオグランド」、「フルバック」等の品種が適します（図参照）。また、緩く巻いた大玉は12月までは簡易なビニルトンネル栽培で生産できますが、小玉になりやすい1月以降には、高い温度を維持できるハウス栽培が適しています。さらに、べたがけ資材を併用して、防寒に努めます。

レタスの業務用生産のメリットとして、出荷規格が簡易で段ボール箱や透明フィルム包装も不要なため、出荷経費や作業時間が軽減できる、また、市場相場に影響されない契約価格で販売するため、安定収入が得られる、といった点が挙げられます。すでに県内では業務用レタス産地の形成に向け、生産者、関係機関が一体となった取り組みが始まっています。

主な適品種	9月	10月	11月	12月	1月	2月	保温方法
インカム	○	●	●	□			トンネル
レオグランド	○	●	●	□			トンネル べたがけ
スティンガー	○	○	□	●	●		ハウス
フルバック	○	○	□	●	●		ハウス べたがけ

凡例 ○：播種 ●：定植 □：収穫 ∩：トンネル ---：べたがけ ◻：ハウス